



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 14・22～33

逆風の中でキリストを見る  
しっかりするのだ、わたしである。  
恐れることはない。

マタイ 14・27

目標

人生の逆風の中でもキリストを  
見上げて、信仰を持って前進する。

10月5日(日)

聖書  
聖句

マタイ 14・22～33

しっかりするのだ、わたしである。  
恐れることはない。 27節

自転車に乗れますか？ 追い風だと、後から風が背中を押してくれて、スイスイとよく走れるけど、逆風だと大変ですね。全然進まないばかりか、もうよろけて転げそうになります。ここの弟子たちは海の上の舟が乗り物でした。逆風でこぎ悩んでいる時、なんと海の上を歩いて来られるイエス様を見たのです。「ギャー、幽霊だあ！」って叫ぶ弟子たちは、「わたしだ、恐がるな」とのイエス様のお言葉に安心しました。

祈り

天のお父様、困った時、つらい時、苦しい時、「わたしだ！」と言ってください共にいてくださるイエス様を見上げます。

10月6日(月)

聖書  
聖句

マタイ 14・22～23

祈るためひそかに山へ登られた。  
夕方になっても、ただひとりそこにおられた。 23節

一万何人ほどの人を「さようなら」と言って、お家に帰らせるのって、大変だったでしょうね。それをイエス様がされたのです。しかもその間に、弟子たちを舟に乗り込ませて、向こう岸へ先に行くようにさせました。イエス様は、どうされたでしょう？ お祈りのために山に登られ、夕方になってもまだそこにひとりおられて、父なる神様にお祈りをされました。実はイエス様の愛の奇跡の力は、父なる神様から来ているのです。

祈り

天のお父様、イエス様はあなたとお交わりを愛されただけでなく、必要とされていたことがわかりました。

10月7日(火)

聖書  
聖句

マタイ 14・24～25

イエスは夜明けの四時ごろ、海の上を歩いて彼らの方へ行かれた。 25節

弟子たちの舟は…？ 逆風と波に悩まされて、木の葉のように揺れています。イエス様は、山の上からちゃんとその様子を見てくださいました。そして、夜明けの四時頃、一番暗い時に、海の上を歩いて、弟子たちの乗っている舟の方に行かれました。私たちが困っているのも、苦しんでいるのも、悩んでいるのもちゃんとご存知で、海の波のような困難、悩みを踏みつけて近づいてくださるのがイエス様です。

祈り

天のお父様、誰にも知られなくてもイエス様はちゃんと私の悩みを知って近づいてくださり、感謝します。

## 10月8日（水）

聖書  
聖句

マタイ 14・26

弟子たちは、イエスが海の上を歩いておられるのを見て、幽霊だと言っておじ惑い、恐怖のあまり叫び声をあげた。 26節

逆風はビュービュー吹きつけるし、波はドドーッ、バシャーンって舟の中にも入ってきます。それだけで、さすがの漁師だった弟子たちも、青い顔だったでしょう。おまけに、海の上を歩いて近づいてくる影が見えた時、もう彼らの恐れは頂点にきちゃって、叫び声をあげてしまいました、「ギャー、幽霊だ！」って。大の男たちだって、これほど恐い思いをしたことはなかったかも。その影はイエス様なのにね。

いのちの祈り 天のお父様、恐ろしい思いをする時、そこにてくださるイエス様をしっかり見ることができるように助けてください。

## 10月9日（木）

聖書  
聖句

マタイ 14・27

しっかりするのだ、わたしである。恐れることはない。 27節

さすがにイエス様です。弟子たちの叫び声を聞くやいなや、「すぐに」彼らに声をかけて言われました、「しっかりするのだ、わたしである。恐れることはない」と。何て力強い、頼りになるイエス様のお言葉でしょう！ 私たちにも、イエス様はいつでも、どんな時でも、こういうふうに声をかけていてくださるのです。「あっ、イエス様だ」とわかると、もう恐れなくてもいいのです。しっかり立つことができますね。

いのちの祈り 天のお父様、これ以上、心が励まされ、安心と力が与えられるみ言葉はありません。共にいてくださるイエス様を感謝します。

## 10月10日（金）

聖書  
聖句

マタイ 14・28～29

ペテロは舟からおり、水の上を歩いてイエスのところへ行った。 29節

「なあ～んだ、イエス様、あなたでしたか」と、弟子たちはどんなにか心がホッと、嬉しくなったにちがいありません。ペテロがどうしたかを見ればよくわかります。「主よ、あなたでしたか。では、わたしに命じて、水の上を渡ってみもとに行かせてください」と言うと、「おいでなさい」とのイエス様のお言葉！ そこでなんとペテロは水の上を歩いてイエス様のところへ行ったのでした。ホントウニ！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様と同じように水の上を歩いてイエス様のみもとに行つたペテロの大胆と勇氣はスゴイです。

## 10月11日（土）

聖書  
聖句

マタイ 14・30～33

ふたりが舟に乗り込むと、風はやんでしまった。 32節

ところが、です。次の瞬間、ペテロはイエス様から目を離して、風を見てしまいました。するとそのとたんに、恐ろしくなってしまう、しかもブクブクおぼれかけたのでした。ペテロは叫びました、「主よ、お助けください」と。ここでもイエス様は「すぐに」手を伸ばし、ペテロをつかまえて言われました、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」。ふたりが舟に乗り込んでいくと風はやんでしまいました。さすがですね。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様を私の心にお迎えしてさえすれば、どんなつらい時、苦しい時も平安でいられます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 15・21～28

見あげた信仰

女よ、あなたの信仰は見あげたものである。あなたの願いどおりになるように。マタイ 15・28  
謙遜でありつつ大胆な信仰によって祈るものとなる。

目標

10月12日（日）

聖書  
聖句

マタイ 15・21～28

女よ、あなたの信仰は見あげたものである。あなたの願いどおりになるように。 28節

あなたも誰かに「ほーっ!!」って、感心してもらったことがありますか？ 九九が完ぺきに言えるようになった時とか。誰が感心してくれて、ほめてくれたのでしょうか？ ここでは、イエス様が、ひとりの女の人の信仰を、「何と見あげたものか!」と感心され、その願いどおりになつたのでした。しかも、この女の人、まことの神様を信じているユダヤ民族のひとりではなく、偶像を拝む国の女の人だったので、驚くばかりです。

いのちの祈り

天のお父様、私もあなたやイエス様から感心され、ほめられるような立派な信仰の持ち主になっていきたいです。

10月13日（月）

聖書  
聖句

マタイ 15・21～22

主よ、ダビデの子よ、わたしをあわれんでください。 22節

「あれ？ 悪霊にとりつかれて苦しんでいるのは、このカナンの女の人の娘さんですよね?」と思うでしょう。この女の人にとって、娘さんの苦しみは、自分の苦しみだったので。だから、「わたしをあわれんでください」と叫びました。いえ、叫び続けました。「主よ、ダビデの子よ」とは、この女の人がイエス様こそ救い主と信じていることだとわかります。私たちも、他の人の苦しみが自分のことのように思えて、「わたしを」とお祈りしたいですね。

いのちの祈り

天のお父様、女の人、娘さんへの愛とイエス様への信仰がひしひしと伝わってきます。私もこう祈りたいです。

10月14日（火）

聖書  
聖句

マタイ 15・23

しかし、イエスはひと言もお答えにならなかった。 23節

え？ イエス様は、こんなにも叫びつづける女の人に、ひと事もお答えにならなかったの？ この人がイスラエル人でなくて、偶像を拝む国の人だったからでしょうか？ イエス様って、そんなに冷たいお方だったの？ おまけに、弟子たちさえもがイエス様のみもとによってきてお願いするではありませんか。「この女を追い払ってください。叫びながらついてきていますから」って！ イエス様もイエス様なら、お弟子さんたちもお弟子さんたち！ なんて冷たいの。

いのちの祈り

天のお父様、これって本当にこうだったのでしょうか。イエス様の態度や弟子たちの言葉が理解できません。

## 10月15日（水）



マタイ 15・24

わたしは、イスラエルの家の失われた羊以外の者には、つかわされていない。  
24節

「泣きっ面にハチ！」状態。つらくてワァワァ泣いているところに、ハチがブーンと飛んできて、おでこをチクリ！ いっそう激しくギァアって泣いてしまうでしょう。お弟子さんたちの心ない言葉につづいて、イエス様のもっとひどいと思われるようなお言葉でした。「イスラエルの家の失われた羊以外にしか、わたしはつかわされていない、あなたがたのところへはつかわされていないのです」とのお言葉。女の人の心は、ますますショックで一杯になったでしょう。

**いの祈り** 天のお父様、お祈りしてもお祈りしても答えられないばかりか、「ノー」という答えがくるととてもショックです。

## 10月16日（木）



マタイ 15・25

しかし、女は近寄りイエスを拝して言った、「主よ、わたしをお助けください」。  
25節

ところがです。この女の人はがっかりしたり、あきらめたり、すねたり、やめたりしなかったのです。なぜって娘をどうしても救ってほしかったからです。女の人は、そんなに無視されたり、追い払われたり、拒絶されたりしたにもかかわらず、ますますイエス様に近寄っていきました。それだけではなく、ひれ伏して礼拝したのです。そしてしつこく、同じことを繰り返しました。「主よ、わたしをお助けください」と。ただこの一言でした。

**いの祈り** 天のお父様、どんなにいわれても、されても、なお近づき、礼拝し、娘の助けを求め続ける姿に教えられます。

## 10月17日（金）



マタイ 15・26

子供たちのパンを取って小犬に投げやるのは、よろしくない。  
26節

イエス様の最後のダメ押しのようなお言葉です。「えーっ！ 小犬ですって?! 私たちのことを小犬だなんて軽蔑ですよ。分かりました。もうがまんできません」と、キレちゃう人もいられるかもしれませんね。イエス様は一体、どういうお気持ちで、この女の人のこのお言葉をおっしゃったのでしょうか。とこまでもへり下って、求め続けるのかどうか、どういわれても、信仰をもって祈り続けるのかどうか、ためされたのでしょうか。あなただったらどうしますか？

**いの祈り** 天のお父様、ここまでいわれたらもうがまんできないかもしれません。でも本物の信仰の持ち主になりたいです。

## 10月18日（土）



マタイ 15・27~28

主よ、お言葉どおりです。でも、小犬もその主人の食卓から落ちるパンくずは、いただきます。  
27節

「はい、私たちは小犬のような者たちです。主よ、あなたのおっしゃる通りです。でも、主よ、小犬だったら、その主人の食卓から落ちるパンくずは、いただくではありませんか」と女の人は答えました。何という徹底したへりくだり！ 何という徹底した信仰！ イエス様はきっと大きな喜びを心に覚えられたことでしょう。そして言われました、「見上げた信仰だ、あなたの願いどおりになるように」と。そして、その時に、娘さんは癒されたのです。

**いの祈り** 天のお父様、このカナンの女の人の愛と、謙遜と、信仰と、祈りとに、多くのことを教えられて感謝します。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

出エジプト 2・1～10  
モーセの誕生  
信仰によって、モーセの生れたとき、両親は、三か月のあいだ彼を隠した。ヘブル 11・23  
危機の中で信仰によって神の助けを求める。

目標

10月19日（日）

聖書  
聖句

ヘブル 11・23  
信仰によって、モーセの生れたとき、両親は、三か月のあいだ彼を隠した。 23節

モーセの時代のお話！ エジプトの王様は国の中でどんどん増えるイスラエルの人々の力が怖くなり、イスラエルの男の赤ちゃんを殺すように命じました。でも、赤ちゃんモーセのお母さんは、神様の下さった特別な命を見て、この子に生きていてほしい、いや、この子は生きていく子だ！と信じたのです。だから、見つかったら何をされるかわからなかったけど、恐ろしい王様の命令も恐れませんでした。そして3か月の間、赤ちゃんを守り育てたのです。神様に勇気づけられた信仰って強いんです！

祈り 天のお父様、どんな危険なときも、勇気づけられた恐れない信仰を下さい。

10月20日（月）

聖書  
聖句

出エジプト 2・1～2  
女はみごもって、男の子を産んだ。 2節

この時代、イスラエルの女性が男の子を生むということは、その男の子が必ず死ななければならないということでした。

王様の命令に、なんの抵抗もできない、力のない、弱く小さな赤ちゃん。けれども、神様は赤ちゃんモーセを見すてませんでした。やがて、この赤ちゃんがエジプトの王様にも勝てる力を神様から与えられる大人になっていくのを、いったいだれが想像できたでしょう！

救おうと思う者を救う、神様のご計画は、わたしたちの想像をはるかに超えているね！

祈り 天のお父様、モーセを守ってくださったあなたの救いの力を私も信じます。

10月21日（火）

聖書  
聖句

出エジプト 2・3～4  
子をその中に入れ、これをナイル川の岸の葦の中においた。 3節

自分じゃどうにもできず、だれにもお願いできないとき、あなたはどうかするかな？

あの赤ちゃんモーセのお母さんも、自分の力だけでは赤ちゃんを守ってあげられないときがやってきました。でもね、お母さんは赤ちゃんを見すてるのではなく、赤ちゃんの運命を神様におまかせする方法をえらんだのです。そして、川岸の葦という草のしげみに、丈夫なカゴに入れた赤ちゃんを、そっとうかべたのでした。赤ちゃんのお姉さんも神様がどうなさるのか、ずっと見守っていましたよ。

祈り 天のお父様、どうしようもないとき、わたしの運命をおまかせします。

## 10月22日（水）



出エジプト 2・5～6

ときのパロの娘が身を洗おうと、  
川に降りてきた。 5節

赤ちゃんがおかれた川岸というのは、なんとエジプト王様の娘（お姫様）が水遊びをする場所でした。赤ちゃんが見つかったら殺されるのが当たり前です！ どうしよう！！

でも神様は、お姫様にやさしい、あわれみの心を与えられたので、赤ちゃんを見つけたお姫様はカゴの中の赤ちゃんを「かわいそう」と思い、守ってあげようと考えたのです。

そして、赤ちゃんは、あの恐ろしい殺害命令を出したはずのエジプトの王様の娘の子どもとなって守られていきました。フシギ！

神様は人の心も変えてくださるお方だね！

いのちの祈り

天のお父様、わたしたちが危ないとき、人の心を変えてでも、ふしぎなことを起こしてくださると信じます。

## 10月23日（木）



出エジプト 2・7～8

少女は行ってその子の母を呼んで  
きた。 8節

お姫様が赤ちゃんを見つけるのをとっておくから見ていた赤ちゃんのお姉さん。ただ見ているだけではお姫様が赤ちゃんをつれていってしまい、もう二度と自分の弟に会えないかも。

でもだいじょうぶ！ 神様はこんなとき、神様を信じる人にはとびきりの勇気と知恵、恐れな心を与えるって知ってください。

赤ちゃんのお姉さんは、思いきってお姫様の所に行き「赤ちゃんにお乳をあげられる人をよんでみましょうか？」と言いました。そして、赤ちゃんのお母さんをつれてきたのです！

いのちの祈り

天のお父様、わたしにも、ここというときにはとびきりの勇気と知恵、おそれない心を与えてください。

## 10月24日（金）



出エジプト 2・9

女はその子を引き取って、これに  
乳を与えた。 9節

あなたは、神様に自分を守ってもらうことは、自分の力で自分を守るよりむずかしいと思いますか？ 自分のことは自分で！ って思いませんか？

だけど、あなたを造り、あなたのことを全部知っておられる神様にあなたを丸ごとおまかせするとき、神様はけっして悪いようにされないだけでなく、隣で祝福してくださるよ。

あの赤ちゃんのお母さんが、神様におまかせしたとき、お乳をあげる乳母となってもう一度赤ちゃんといっしょにすごせたいにね。

いのちの祈り

天のお父様、自分の力でなんとかするのではなく、わたしを丸ごとおまかせします。あなたの憐れみと祝福をわたしにもください。

## 10月25日（土）



出エジプト 2・10

彼女はその名をモーセと名づけて  
言った、「水の中からわたしが引き  
出したからです」。 10節

モーセの名前は「引き出す」という意味なんだって。

最初は殺されるはずの赤ちゃんだったけれど、神様によって命を引き（助け）出され、エジプトのお姫様に水の中から引き出された赤ちゃんにぴったりの名前だね！ それだけではなく、モーセを通して、エジプトで奴隷になって苦しめられていたイスラエルの人々を引き出し（助け出し）たい、という神様のご計画が、この名前にこめられているんだね！

いのちの祈り

天のお父様、苦しむ人を助けるために、あなたにとっていちばんいいご計画があることを信じます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

出エジプト 12・1~14

過越

わたしはその血を見て、あなたがたの所を過ぎ越すであろう

出エジプト 12・13

目標

キリストの血により罪赦され、神の裁きから守られる者となる。

10月26日（日）

聖書  
聖句

出エジプト 12・13

わたしはその血を見て、あなたがたの所を過ぎ越すであろう 13節

イスラエルの人々を救うため、神様はエジプトに九つの災いを起こしました。でもエジプトの王様はイスラエル人を去らせてくれません。とうとう、神様は十番目の災いに、エジプト中の家で、初めて生まれた男の子は、人も家畜も滅ぼすと決めました。

じゃあ、神様を信じている、エジプトの中のイスラエル人は？ 人々は家の2本の門柱とかもいに羊の血をぬり、その血のしるしを見て、神様はその家で初めての男の子を滅ぼさなかったのです！ 神様がエジプトにいるイスラエル人を救う方法を用意されたのです！

いの祈り

天のお父様、あなたを信じる人に救いの方法を用意して下さい感謝します。

10月27日（月）

聖書  
聖句

出エジプト 12・1~2

この月をあなたがたの初めの月とし、これを年の正月としなさい。 2節

イスラエル人がエジプトを出る日が来ました。神様は、この月をイスラエル人の「歴史が変わる日」「新しいスタートの日」と決められたの。奴隷にしていたエジプト、本当の神様ではない沢山の神々が拝まれていたエジプトをぬけだし、本当の神様に従って歩き始めるすばらしいとき、新しい人生が来るのです！

あなたも、今までの古い生き方を変え、罪からぬけ出そう！ そして、イエス様を信じて心におむかえし、新しい命をいただいて、神様に従うすばらしいスタートをしよう！

いの祈り

天のお父さま、今までの自分の生き方からぬけ出して、イエス様を信じ、新しいスタートをします。

10月28日（火）

聖書  
聖句

出エジプト 12・3~5

子羊は傷のないもので、一歳の雄でなければならない。 5節

どうしてイスラエルの人が羊の血を柱とかもいにぬって救われたかわかりますか？

それは、まだ罪を知らない羊の血が、イスラエルの人々の罪の身代わりに死んだことを知らせてくれたからなんです。

罪のない羊が死んだから、その家に住んでいる人はもう神様に赦され、罰を受けなくてよい、ということなんだね。

十字架で血を流されたイエス様を見て！ あなたの罪の身代わりに、あなたがもう罰を受けなくてよくなるために、血を流して死んでくださった罪のない羊、それがイエス様なんだよ！

いの祈り

天のお父様、わたしの代わりに血を流されたイエス様をありがとうございます。

## 10月29日（水）

聖書  
聖句

出エジプト 12・6～7

その血を取り、子羊を食する家の入口の二つの柱と、かもいにそれを塗らなければならない。 7節

神様は、イスラエルの人々を救うために一つの方法を用意されました。もし、イスラエル人が神様の方法に従わなかったら？ そう、従った人だけが救われる、というのが神様の約束だったの。

神様は、わたしたちを愛し、だれも滅んでほしくないとおっしゃいます。そして、イエス様という、たった一つの救いを用意されました。救われるためには、わたしたちの罪の身代わりに死なれたイエス様の十字架の血を信じること。方法はただ一つなんです！

祈り

天のお父様、イエス様の十字架だけがわたしを救うたった一つの方法であることを信じます。

## 10月30日（木）

聖書  
聖句

出エジプト 12・8～10

火に焼いて、頭を足と内臓と共に食べなければならない。 9節

どうしてまるごと羊を食べるの？ それはね、自分の身代わりに裁かれた羊の命をまるごと受け入れるため！ 食べることは受け入れること、受け入れることは信じることなんです！

あなたは、教会に行き、聖書のお話を聞き、イエス様があなたの罪の身代わりに十字架にかかって死んだことを聞いているでしょう？ でも、耳で聞いて、頭ではわかっているけど、心の中にイエス様を受け入れたでしょうか？

聞くよりもっと大事なことは受け入れることなんです！ 受け入れるとき、イエス様の命があなたを造り、生かしてくれるのです！

祈り

天のお父様、わたしもイエス様の命を受け入れて、生きていきます。

## 10月31日（金）

聖書  
聖句

出エジプト 12・8～10

朝まで残るものは火で焼きつくさなければならない。 10節

あなたは、お友達や身代わりになって大人の人から罰を受けたことがありますか？

罰って燃える炎のように怖いものです！

でも、身代わりの羊が焼き尽くされたみたいに、罪を背負い、あなたのために、とことん罰を受けて下さったお方を思い出して！

十字架にかかる、ということは重い罪のある人が死ぬための罰です。でも、イエス様は神様のひとり子で、罪がないのに、自分の命を捨ててまで、あなたの罪を背負って、あなたがかるはずの十字架に、代わりにかけられたんですよ！ だからあなたが赦されるのです！

祈り

天のお父様、命を投げ出して、わたしの代わりにとことん罰を受けられたイエス様の十字架を感謝します。

## 11月1日（土）

聖書  
聖句

出エジプト 12・13

その血は…あなたがたのために、しるしとなり、わたしはその血を見て、あなたがたの所を過ぎ越すであらう。 13節

罪がある人となない人、どうすればわかりますか？ また、どうすれば天国に行けますか？ いい子だから？ 家族がクリスチャンだから？ あなたが教会に行っているから？

それは、私たちが決めるのではなく、神様が決めること。子羊の血のしるしを見て、神様が過ぎ越されたように、あなたの心の中に、十字架で死なれたイエス様の血のしるしがあるかどうかを、神様は見て、決めるんです。十字架は、救いの完全な約束だよ！ 信じよう！

祈り

天のお父様、わたしもイエス様の十字架を信じます。そして、救いの約束をいただいて生きていきます。





聖書  
テーマ  
暗唱聖句

出エジプト 16・31~36  
荒野で与えられた食物  
イスラエルの人々は人の住む地に  
着くまで四十年の間 マナを  
食べた。 出エジプト 16・35  
神による養いと守りがあるこ  
とに信頼して生きる。

目標

11月2日(日)

聖書  
聖句

出エジプト 16・35  
イスラエルの人々は人の住む地に  
着くまで四十年の間 マナを食べた。  
35節

エジプトを出たイスラエル。お店もお水もな  
んにもない、カラカラの砂漠でなんと四十年  
も生活したんだって！ のどはかわくしおなか  
もすいて、おまけにへとへと。でも、神様はそ  
の間もずっとイスラエルの人たちに一日一日、  
必要なものを与えつづけてくださったよ。その  
ことで、イスラエルの人はいずれかや何かにたよ  
るのではなく、ただ神様にたよればよいという  
ことを学んでいきました。

あなたも、くるしいとき、つらいとき、大変  
なとき、どんなときも、必要なものをくださる  
神様にたよってね！

祈り 天のお父様、必要なものをくださるあな  
たにだけたよります。

11月3日(月)

聖書  
聖句

出エジプト 16・31  
イスラエルの家はその物の名をマ  
ナと呼んだ。 31節

「あのときはよかったのに…」なんて今と前  
のことをくらべてはブツブツ。一人でつぶやい  
ているようでも神様は聞いているってこと、  
知っているかな？

イスラエルの人々も、まだ、神様にどうやって  
たよったらいいかを知らない人たちでした。

マナとは「なにこれ？」って意味。神様は、  
つぶやいてばかりの人たちにも「神様だけの  
方法」でこたえて、天からとてもふしぎな食べ  
物をプレゼントしてくれたんだ。

神様はあなたにも、神様だけのふしぎな方法  
でこたえてくださることをわすれないでね。

祈り 天のお父様、わたしにもふしぎな方法で  
こたえてくださることをありがとうご  
ざいます。

11月4日(火)

聖書  
聖句

出エジプト 16・31  
イスラエルの家はその物の名をマ  
ナと呼んだ。 31節

マナは、パンのようなもので白く、蜜を入れ  
たおせんべいのような味だったんだって。

神様は毎朝ごとにマナをふらせてくれたん  
だけど、神様のルールがあつてね。イスラエル  
の人たちがそのルールに従うかどうか、見て  
おられたよ。

神様は、神様が与えるものだけで人が生きる  
こと、人が神様にだけたよって生きること、  
一日一日わずれずに神様が助けてくださるこ  
とをイスラエルの人に知らせたかったんだ。も  
ちろん、わたしたち一人一人にもね。

祈り 天のお父様、あなたがわたしに教えよう  
としていることを、わたしがしっかり知  
ることができますように。

# 11月5日(水)

聖書  
聖句

出エジプト 12・32

それを一オメルあなたがたの子孫  
のためにたくわえておきなさい。  
32節

マナはとてもふしぎな食べ物でした。毎朝、  
自分が食べられる分だけを集めて食べると、の  
こりは虫がついてくさくなったり、とけたりし  
ました。そして、七日目が神様の安息日なので、  
六日目だけは二日分集められたのです。

でも、神様は砂漠にいる人たちの体の心配  
だけでなく、その後の人たちの心の心配もし  
ていました。神様がイスラエルの人たちにし  
てくれたことを、目で見えて知ることができるよ  
うにしてくださったのです。この、子孫のための  
マナだけはくさらずに残すことができました。

いのちの祈り 天のお父様、体のことだけでなく、見な  
いと信じられない人の心のことも心配  
してくださりありがとうございます。

# 11月6日(木)

聖書  
聖句

出エジプト 12・33

一つのつぼを取り、マナーオメルを  
その中に入れ、それを主の前に置いて、  
子孫のためにたくわえなさい。  
33節

くさらないマナは、神様がくれたたくさんの  
恵みのしょうこ。モーセは、神様が命じたとお  
りにつぼの中にマナを入れて残しました。

あなたにも、神様はたくさんのことをしてく  
れているけれど、それをちゃんと心のつぼに  
入れて残しているかな？ あなたの心にある、  
たくさんの神様からのおくりものを、あなたも  
しっかりとたくわえてくださいね！そして、  
神様を知らないといけないうちの人の人に伝  
えられますように！

いのちの祈り 天のお父様、心のつぼにあなたの恵み  
をいっぱいたくわえます。だれかのため  
にやくだちますように。

# 11月7日(金)

聖書  
聖句

出エジプト 12・34

アロンはそれをあかしの箱の前に  
置いてたくわえた。  
34節

アロンって人が出てきたね。アロンはモーセ  
のお兄さん。モーセが、イスラエルの人たちの  
リーダーになって、神様が言われるところに行  
きなさいと言われたとき、モーセは「そんなこ  
とできない！！」と思っていました。そこで、  
モーセが神様のために働けるように、アロン  
をいっしょに行かせてくれたんだね。

アロンは、モーセの「できない！」と思うと  
ころをしてくれるなかまでした。

あなたも、神様のためにはたらくときには、  
ちゃんとアロンのような人が与えられるよ。

いのちの祈り 天のお父様、一人じゃあなたのために何  
にもできないですが、アロンのような助  
けも与えてくださることは感謝です。

# 11月8日(土)

聖書  
聖句

ヨハネ 6・30～35

わたしが命のパンである。  
35節

イスラエルの人たちが食べたマナは、食べた  
らなくなり、またおなかですいてしまうもので  
した。それが四十年つづいただけでもびっく  
りだけど、人の心はまんぞくできないんだ。

でもね、神様があなたにしてくれた、さいこ  
うでさいだいのできごとを思いだして！

イエス様が命のパンだということ。それは、  
イエス様があなたのために十字架で自分の体  
をひきさいて、血を流してくれたことを、心の  
中にいただくことだよ。そのときに、あなたに  
は永遠の命、本物の命がもらえるんだね。そ  
して、それは消えてなくなるものではなく、ず  
～っと続いていくものだね。

いのちの祈り 天のお父様、あなたがわたしにしてくだ  
さった一番のこと、それはイエス様をく  
ださったことです。ありがとうございます！



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

出エジプト 17・8-16

祈りの手

モーセが手を上げていますとイスラエルは勝ち、手を下げるとアマレクが勝った。

出エジプト 17・11

目標

御国のための戦いにおける祈りの重要性を知って、祈る者となる。

11月9日(日)

聖書  
聖句

出エジプト 17・11

モーセが手を上げていますとイスラエルは勝ち、手を下げるとアマレクが勝った。 11節

「わたしってなんの力もないな〜」「だれのやくにも立たないな〜」なんて思っている人、いませんか？ でもね、おじいちゃんになったモーセの、このすがたを見て！

だれかがたいへんな思いをしているとき、モーセのように祈りの武器でたたかうことができるって、小さいことはありません。いえ、お祈りこそ、あなたにとってさいだいの力になるってことを知ってくださいね。

神様を信じてお祈りする人に、神様はかならずこたえて勝利をくださるよ！

いのちの祈り

天のお父様、お祈りはわたしの力になることを信じます。

11月10日(月)

聖書  
聖句

出エジプト 17・8

ときにアマレクがきて、イスラエルとレピデムで戦った。 8節

イスラエルの人たちは、カラカラの砂漠での毎日。それだけでもたいへんなのにアマレク人という、戦うことが大好きな人たちに攻められてしまい、戦わなければ生きられません！

あなたのまわりにも、神様を信じていることをじゃまし、こうげきしてくるものはある？

でもね、神様が選んだ人たち、神様を信じる人たちにこうげきしてくることは、神様にむかってこうげきするのといっしょなのです。

神様をおそれないことはこわいことです。だって神様は、だまって見てはいないから！

いのちの祈り

天のお父様、あなたを信じる人をこうげきしてくるものは昔も今もあります、あなたが見ておられるのですね！どうかお守りください。

11月11日(火)

聖書  
聖句

出エジプト 17・9-10

ヨシュアはモーセが彼に言ったようにし、アマレクと戦った。 10節

ヨシュアは、モーセのあとでイスラエルのリーダーになる人でした。モーセは、イスラエルを守るために、ヨシュアに人を選ばせて、アマレク人と戦いなさいと言いました。

ただでさえ、砂漠の生活で、体も心もヘトヘトだし、おまけに戦うくんれんもしたことはありません。それに、アマレク人は戦争が大好きで武器もたくさんあって強かったのですから、ヨシュアはきっと戦うことはこわかったと思います。でも、ヨシュアは神様とモーセの言うことにすぐに従ったのです！すごい勇氣！

いのちの祈り

天のお父様、どんなにこわくても、立ち向かわないといけないうとき、勇氣をだしてあなたに従えますように！

## 11月12日(水)



出エジプト 12・12

そしてひとりはこちらに、ひとはあちらにいて、モーセの手をささえたので、彼の手は日没までさがらなかった。 12節

モーセがお祈りしている間、モーセのそばで手がさがらないようにささえてくれる人がいました。モーセの手がさがると、イスラエルはアマレク人に負けてしまうからでした。

どんなお祈りの戦士も、心と体がつかれて一人ではどうしようもなくなるときがあります。でも、いっしょにお祈りしてくれるなかま、いっしょに神様のためにはたらいてくれるなかまがいるなら、どんなにか助けになるでしょうね！ あなたもそんな人を見つけてね！

いの祈り

天のお父様、いっしょにお祈りし合えるなかまとあなたのためにはたらいていきますように。

## 11月13日(木)



出エジプト 12・13

ヨシュアは、つるぎにかけてアマレクとその民を打ち敗った。 13節

ついに、イスラエルはアマレクに勝ちました！ ヨシュアやイスラエルの戦士が強かったから勝てたんだっけ？ ちがうよね！

ヨシュアのすなおに従う心、イスラエルのために命をかけて戦ったこと、そして、モーセがお祈りしつづけてくれていたことが、勝利のポイントだね！ 神様はちゃんと見ておられ、人の考えを超えた力をくださったね。

今日も、あなたの見えないところで、あなたのためにお祈りがささげられ、神様が助けてくださっていることをおぼえてくださいね！

いの祈り

天のお父様、いつもだれかのお祈りがわたしのためにあること、あなたが助けてくださることを忘れませんように。わたしもだれかのためにお祈りします。

## 11月14日(金)



出エジプト 12・14

わたしは天が下からアマレクの記憶を完全に消し去るであろう 14節

神様は、このできごとを書物に書いてのこし、次のイスラエルのリーダーになるヨシュアに伝えるようにと、モーセに命じました。

アマレクとの戦いは、これで終わったわけではなくて、これからもつづいていくものでした。そして、これからのたいへんな思いをするかもしれない。でも、神様は、アマレクとの戦いがかならず終わる日が来ること、完全に勝利できることを知らせたかったんだね。

神様がかならずそうしてくださる日がくる！ と分かっているなら、あきらめず祈りつづけ、立ち向かいつづけられるんだね！

いの祈り

天のお父様、あなたの約束があるので、わたしもあきらめず祈っていきます。

## 11月15日(土)



出エジプト 12・15~16

モーセは一つの祭壇を築いてその名を「主はわが旗」と呼んだ。 15節

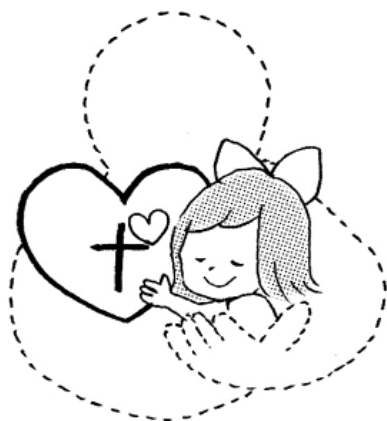
あなたは、神様があなたにくださった一つ一つのこと、どれくらい思い出せるかな？

自分の力でしてきた！ とかんちがいしやすいわがたちだけど、本当は、神様があなたのために戦ってくださっているんだ。

きっとこれからも、神様はあなたを助け、守り、救い出してください。そのとき、そのことを「あ～よかったな」だけで終わらせるのではなく、「あのとき、神様がこうしてくださった！」という感謝のしるしを、心のページページにつけていってください。モーセが記念の祭壇を立てたようにね。

いの祈り

天のお父様、わたしも心に一つ一つ、あなたへの感謝のしるしをつけていきます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

出エジプト 20・1~17

十戒

あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない。

出エジプト 20・3

目標

神の御心を知り、従う者となる。

11月16日(日)

聖書  
聖句

出エジプト 20・1~3

あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない。 3節

日本にはかぞえきれないほどの神々がいるって聞いたことがありますか？

お金もうけの神様、恋愛の神様、勉強の神様、中にはキツネやへびまでが神様になっていたります。でも、神様ってそれっぽっちのことしかできないものですか？ 人が作ったものが神様なの？

いいえ、この世界を造り、あなたを造り、あなたの罪の代わりにイエス様の命まで与えるほどあなたを愛し、とうとう永遠の命までくださった、なんでもできるお方が神様だよ！だから、この神様だけを信じて生きていくんだね！

祈り

天のお父様、あなただけが、ただ一人の本当の神様です！

11月17日(月)

聖書  
聖句

出エジプト 20・4~6

あなたは自分のために、刻んだ像を造ってはならない。 4節

「わたしは本当の神様を信じてるからほかの神様は信じてないよ」と思っている人の心の中にも、じつはほかの神様がいるなんてこと、あるんだよ。その、ほかの神様というのはね、自分が一番たいせつにしているもの。

「神様が言われることよりも、家族やお友だちの言うことの方がたいせつ」「本当に信じられるのはお金だ」「仕事だけが生きがい」など。生きているからたいせつにしたいものはきっとたくさんあるけれど、本当にたいせつな神様をわすれてしまっていないですか？

まず一番に神様を信じて従う人に、祝福がたくさんあるんだよ！

祈り

天のお父様、なにを信じるよりもまず、あなたを信じたいせつにします。

11月18日(火)

聖書  
聖句

出エジプト 20・7

あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。 7節

お父さんやお母さんと子どもが、見た目だけでなく、行動や考え方で似てくるのはなんでだと思いますか？ そう、いっしょに生活しているからだよね。神様も、あなたが神様の子どもとして神様に似ることをねがっています。

でも、神様を信じているのに、あなたが神様がよろこばれないことや、神様の子どもにふさわしくないことをしたらどうだろう？

きっと神様は悲しむし、あなたは神様の顔にどろをぬることになるね。

どこで、だれとすごしているときも、神様の子どもらしくすごしていこうね！

祈り

天のお父様、いつでもどこでも、あなたによろこばれる、あなたに似た子どもでいられますように。

## 11月19日（水）



しゅつ 出エジプト 20・8~11  
あんそくにち おぼ 安息日を覚えて、これを聖とせよ。  
8節

たんじょう日など、自分のきねん日を覚えてもらってすごうれいね。神様も、覚えてほしいせつな目があるって知ってる？

ふだん、勉強や、遊びや、色んなことで神様をわすれてしまうわたしたちだけど、そうだ！日曜日は神様の日！神様のために時間をあけて、神様にむかってみんで「ありがとう！」と感謝し、礼拝し、お祈りする日だったね！神様をよろこばせる日だったね！

だって、神様がわたしたちを造ってくださったんだもの。世界のすべての人と一しょにこの日をよろこぼう！

いの 祈り てん 天のお父様、あなたの日を世界のみんなと覚えて、この日をすごせますように！

## 11月20日（木）



しゅつ 出エジプト 20・12  
あなたの父と母を敬え。 12節

「おぎゃあ」と生まれてきてはじめてで会う人、それはお母さんとお父さん。だからあなたの人間関係はお父さんとお母さんからまわっているね。両親が子どもを育てる責任があるように、あなたにも責任があるよ、と神様は教えています。

それは、あなたを生んでくれた両親を大切にしながらいっしょに生きていくということ。親だって、人間だから、いいところ悪いところあるけれど、こんなわたしたちを愛してくださる神様を信じているから、わたしたちもほかの人を愛し、たいせつにできるんだね。

いの 祈り てん 天のお父様、あなたがこんなわたしを愛してくださるので、わたしも、父と母とを愛してたいせつにしていきます。

## 11月21日（金）



しゅつ 出エジプト 20・13~16  
あなたは殺してはならない。 13節

殺したり盗んだりうそをついたり…してはいけないなんて、あたりまえのルールでしょ！なんて思ってる人はいませんか？

「あの子なんかいなくなっちゃえ」「あの子のあれがわたしのものだったらいいのに…」「だれも見えていないからいいか」…

イエスは「心の中でも罪をおかさないように」と言ったよ。聖い、人の心を見られる神様の前では、心の罪も本当の犯罪も同じ。

神様に罪を「ごめんなさい」とおわびしたわたしたちだから、心の中の罪一つも、けっして見のがしてはいけないね！

いの 祈り てん 天のお父様、あたりまえのことではなく、心の中であっても、罪をおかさないように守ってください。

## 11月22日（土）



しゅつ 出エジプト 20・17  
あなたは隣人の家をむさぼってはならない。 17節

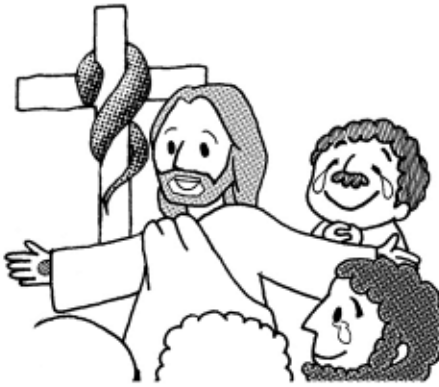
ほかの人を見て、それを自分が持っていないと感じると、それを持っていなくちゃいけないような気持ちになるのが人間です。

でも、本当にそれがひつようなの？  
神様は、あなたをとくべつに造り、あなたにしかないものを与えてくださるんだよ。

どうか、一つずつ、神様があなたにくれたものを思いだしてください。そして、神様から与えられているものだけで満足できるあなたでいてくださいね。

いの 祈り てん 天のお父様、自分にはないものをほしがるのではなく、自分に与えられているものを一つずつ思いだし、感謝し、満足できますように。

しゅうかくかんしゃ  
収穫感謝



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

民数記21・4～9

信仰による救い

すべてへびにかまれた者はその  
青銅のへびを仰いで見て生きた。  
民数記21・9

目標

キリストを信じ仰いで、救いを  
受ける。

11月23日(日)

聖書  
聖句

民数記21・4

民はその道に堪えがなくなった。4節

今日は収穫感謝の日ですね。毎日のお食事  
ができるのは当たり前ではなく、すべて神様の恵  
みです。お父さんお母さんが元気に働くこと  
ができて、おいしい料理を作ってもらえること  
も、神様がいつも守ってくださっているからな  
のです。心から神様に感謝しましょう。

あれれ、今日読んだ箇所は、神様に感謝する  
はずが、イスラエルの民は「その道に堪えがた  
くなった」とありますね。あ～もう、我慢でき  
ない！ もうイヤ！ と神様とモーセに文句を  
言っていますよ。いったいどうして？ さあ、  
今週もしっかりみことばを読んでいきましょ  
う。

いの  
祈り

天のお父様、毎日のおいしい食事をあり  
がとうございます。今週も神様のみこ  
ころを教えてください。

11月24日(月)

聖書  
聖句

民数記21・4～5

わたしたちはこの粗悪な食物はい  
やになりました。5節

モーセひきいるイスラエルの民は、何十年  
も旅をつづけていました。何十年ものあいだ、  
神様は「マナ」という食べ物を毎日ふらせ、イ  
スラエルの民に食べさせてくださいました。と  
ころが、イスラエルの民は「わたしたちを荒野  
で死なせるんですか？ もう、こんな食べ物は  
イヤになりました！」と神様とモーセに文句を  
言い始めたのです！

神様はいつもたくさんの恵みをくださっ  
ているのに、それが当たり前になると感謝の気持  
ちがなくなります。そして文句やわがまを言  
いやすくなります。あなたは、どうですか？

いの  
祈り

天のお父様、あなたはたくさんの恵みを  
くださっています。わたしをわがままや  
文句から守ってください。

11月25日(火)

聖書  
聖句

民数記21・4～6

そこで主は、火のへびを民のうち送  
られた。6節

何十年も食べ物を与えてくださっていた  
神様にたいして文句を言うなんて、何と  
恐ろしい罪でしょう。神様は、イスラエルの民  
のところへ、火のへびを送られました！ 火の  
へびとは、かまれた人は死んでしまうほどの毒  
を持ったへび！ へびにかまれた人々は次々に  
死んでしまいました！

イスラエルの民は、これまで何度も神様にた  
いして文句を言ってきました。それなのに、ま  
た同じ罪を犯してしまったのです。でも、これ  
は人ごとじゃないですね。わたしたち人間はみ  
んな、同じ罪を何度も犯しやすいのです。いつ  
も、神様に守っていただけるように祈りましょ  
う！

いの  
祈り

天のお父様、同じ罪を犯しやすいわたし  
を、罪から守ってください。

11月26日(水)

聖書  
聖句

民数記21・4～7

わたしたちは主にむかい、またあなたにむかい、つぐいやいて罪を犯しました。 7節

恐ろしいへびは、神様からの厳しいさばきであることがわかりました。イスラエルの民は、自分たちの罪に気づいたのです。彼らはモーセに言いました、「わたしたちは神様とあなたに文句を言い、罪を犯しました！ どうかへびが取り去られるように祈ってください！」

イスラエルの民がもし、自分たちの罪に気づかなかつたら、みんな死んでしまったことでしょう。わたしたちの心の中を点検しましょう。罪に気づいたらすぐ！ 神様の前で悔いあらためることが大切です。

いの  
祈り

天のお父様、わたしの心の中の罪を教えてください。気づいたらすぐに悔いあらためることができるよう。

11月27日(木)

聖書  
聖句

民数記21・8

そこで主はモーセに言われた、「火のへびを造って、それをさおの上に掛けなさい」。 8節

モーセが神様にお祈りすると、神様からびっくりするお答えが返ってきました。「へびをつくって、さお(ほそ長い棒)の上をかけなさい。そのへびを見上げた人は生きる」と言われたのです！ えっ、もうかまれないように、へびを取り去ってくださるんじゃないの？ そんなことをして意味があるの？ と思ってしまいますね。

神様は、わたしたちが思いもよらないことを命じられることがあります。でも、「はい、わかりました」とすなおに従うことが大切。神様には、ちゃんとお考えがあるのです。

いの  
祈り

天のお父様、あなたのみことばに、すなおに従うことができるよう、助けてください。

11月28日(金)

聖書  
聖句

民数記21・4～9

すべてへびにかまれた者はその青銅のへびを仰いで見て生きた。 9節

モーセは神様の言われたとおり、青銅でへびをつくって、さおの上にかけました。へびにかまれた人々がそのへびを見上げると、なんと身体からだの毒どくが消えて助かったのです！

青銅のへびの力？ いいえ。へびには何の力ちからもありません。「へびを見上げたら生きる」という神様のみことばを信じて、そのとおりにしたから助かったのです。イスラエルの民は、神様のみことばが本当に正しいことを知りました。神様のみことばを信じてそのとおりに生きるなら、けっしてまちがった道に行くことはありません。

いの  
祈り

天のお父様、あなたのみことばが本当に正しいことがわかりました。みことばのとおり生きることをできますように。

11月29日(土)

聖書  
聖句

ヨハネ 3・14～15

ちょうどモーセが荒野でへびを上げたように、人の子もまた上げられなければならない。 14節

今日は、イエス様が語られたみことばです。モーセが青銅のへびをさおにかけたように、イエス様も十字架にかけられる、と言われたのです。へびの毒どくが身体からだにひろがるように、わたしたちの心こころの中には罪がひろがっています。そのままでは、永遠のほろびが待っているのです。

でも、イエス様の十字架を見上げるなら、イエス様の十字架が、わたしの罪の身がわりだと信じるなら！ おそろしい罪はゆるされ、永遠の命いのちが与えられるのです。さあ今、十字架を見上げて、罪からの救いを受けとってください！

いの  
祈り

天のお父様、今、イエス様の十字架を見上げて、罪からの救いを受けとります。



アドベント



聖書

イザヤ7・1～17

テーマ

神への信頼に生きる

暗唱聖句

見よ、おとめがみごもって男の子を産む。その名はインマヌエルとなえられる。

イザヤ7・14

目標

困難の中にも共におられる神に信頼する者となる。

11月30日（日）

聖書  
聖句

イザヤ7・1～2

王の心と民の心とは風に動かされ、  
林の木のように動揺した。 4節

今日からイエス様のお誕生を待ち望むアドベントに入ります。イエス様のお誕生が預言されたのは、お誕生の約700年前。イスラエル国が北と南に分裂している時代です。北イスラエル王国とスリヤの国が、南ユダ王国を攻めようとしていました。ユダの王様と人々の心の中は、風にビューッとふかれてユラユラ動く木のように、不安でいっぱいになりました。不安な彼らのところに、神様は預言者イザヤをつかわし、神様のみことばを伝えられました。

不安になりやすいわたしたち。そんな時、わたしたちを力づけてくれるのは神様のみことばです。

いのちの祈り

天のお父様、不安になりやすいわたしに、いつも神様のみことばを与えてください。

12月1日（月）

聖書  
聖句

イザヤ7・3～6

気をつけて、静かにし、恐れてはならない。 4節

イザヤは、ユダの王アハズに神様のみことばを伝えに行きました。「気をつけて、静かにし、恐れてはならない」。ユダを攻めて滅ぼそうという悪い計画が進んでいるけれど、恐れるな！心を弱くしてはいけないよ！と神様はアハズ王をはげまして下さったのです。

わたしたちは、悪い噂を聞くと、「ど～しよう…」と不安になってしまいます。でも、神様は言われます、「恐れるな！」このみことばは、聖書の中で何度も神様が言われている、大切なメッセージ。誰にはげまされるよりも、神様のはげましは心強いですね！

いのちの祈り

天のお父様、あなたがわたしを力強くはげましてくださっていることを感謝します。

12月2日（火）

聖書  
聖句

イザヤ7・7～9

もしあなたがたが信じないならば、  
立つことはできない 9節

神様はつづけてアハズ王に、「ユダが滅ぼされるという計画はけっして起こらない」と言われました。逆に、ユダを攻めてくる北イスラエル王国の人々が、65年のうちにいなくなってしまったのです。えっ？ ホントなの？と信じられないアハズ王に神様は、「信じないなら、あなたがたは滅びてしまう」とハッキリ言われたのでした。

せっかく神様がはげましてくださっているのに、神様のみことばが信じられなかったら意味がありません。みことばは、いつもすなおに、そのまま信じるのが大切なのです。

いのちの祈り

天のお父様、あなたのみことばを疑わず、いつもすなおに信じるができますように。

## 12月3日（水）

聖書  
聖句

イザヤ7・10～13

あなたがたは人を煩わすことを小さい事とし、またわが神をも煩わさうとするのか。 13節

なかなか、神様を信じることができないアハズ王。神様はさらに、「主に一つのしるしを求めなさい」と言われました。「あなたが信じるために、しるしを見せてあげるから求めなさい」ということ。神様がここまで言うてくださったのに、アハズ王はしるしを求めず、神様のみことばを信じようとしませんでした。そこでイザヤは、「あなたは神様まで悩ませるのか！」と強く言い返したのです。

神様のみことばを信じないということは、神様を悩ませることなのです。

いの  
祈り

天のお父様、あなたの心を悩ませたくありません。みことばを心から信じていきます。

## 12月4日（木）

聖書  
聖句

イザヤ7・14

見よ、おとめがみごもって男の子を産む。その名はインマヌエルとなえられる。 14節

神様は、ご自分から一つのしるしを与えると仰いました。それは、「まだ結婚をしていない女の人から、男の赤ちゃんが生まれる。その子の名前はインマヌエルと呼ばれる」。これが神様が下さるしるし、救い主イエス様の誕生の預言です！ インマヌエルというのは、「神様は共にいてくださる」という意味。

アハズ王は神様を信じなかったので、彼を助けてくださるしるしではありませんでした。700年も後にお生まれになる救い主誕生の預言だったのです。神様はわたしたちのために、こんな昔から救いの計画をされていたんですね！

いの  
祈り

天のお父様、わたしのために救い主の誕生を計画してくださり本当に感謝します。

## 12月5日（金）

聖書  
聖句

イザヤ7・15～17

その子が悪を捨て、善を選ぶことを知るところになって、凝乳と蜂蜜とを食べる。 16節

救い主イエス様についての預言はもう少しつづきます。「凝乳と蜂蜜とを食べる」と書いてあるけど、これはつまり、とても貧しい人の食べ物のこと。イスラエルはこれから他の国に支配されてしまい、さらに暗い、貧しい時代がやってきます。そんな時代に、救い主イエス様がお生まれになるよ！ということなんです。

イエス様が来てくださる場所は、いつだって暗くて貧しくてつらい場所。それは、罪だらけで暗くなっている人々の心を、つらくて苦しむ人々の心を救ってくださるためなのです。

いの  
祈り

天のお父様、罪だらけで、苦しんでいる心にイエス様が来てくださり、救ってくださることを心から感謝します。

## 12月6日（土）

聖書  
聖句

イザヤ7・14

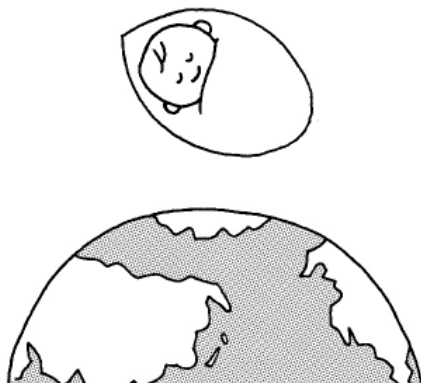
見よ、おとめがみごもって男の子を産む。その名はインマヌエルとなえられる。 14節

「救い主の名前はインマヌエルと呼ばれる！」イスラエルがずっと苦しい時代、救い主イエス様のお誕生が預言されました。いちばんつらくて苦しい時こそ、神様は「インマヌエル！ わたしはいつもいっしょだよ。だいじょうぶだよ！」とはげましてくださるお方なのです。

この神様のお約束をうたがわず、心から信頼していきましょう。つらい時、かなしい時、インマヌエル！ というみことばを思い出して下さい。必ず、神様は本当に共にいてくださるんだ！ という体験をすることができます！

いの  
祈り

天のお父様、あなたが共にいてくださるというお約束を心から信じて、信頼していきます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

イザヤ 9・1～7

預言されたメシヤ誕生

ひとりのみどりごがわれわれの  
ために生れた、ひとりの男の子  
がわれわれに与えられた。

イザヤ 9・6

目標

私たちのために生れた救い主  
キリストを信じる。

12月7日(日)

聖書  
聖句

イザヤ 9・1～7

ひとりのみどりごがわれわれのた  
めに生れた、ひとりの男の子がわれ  
われのために与えられた。 6節

きょうはアドベント第二週です。救い主イエ  
ス様の誕生を祝うクリスマスに向けて心  
を備える時です。クリスマスはたくさんの  
祝福が待っているようで、わくわくします。救  
い主イエス様の誕生は、なんと七百年も前に、  
イザヤという大預言者が預言していました。オ  
ドロキですね。しかも、「生れた」、「与えられ  
た」って、もうすでにお生れになったかのよう  
に記しています。その通りになりました。

いの  
祈り

天のお父様、あなたの預言のお言葉は必  
ずその通りになります。救い主イエス様  
をお与えくださり感謝します。

12月8日(月)

聖書  
聖句

イザヤ 9・1～2

暗やみの中に歩んでいた民は大い  
なる光を見た。暗黒の地に住んでい  
た人々の上に光が照った。 2節

ユダヤの人たちは、神様が約束して下さって  
いるメシヤ(救い主)を、今か今かと待ち望ん  
でいました。世の中はますます恐ろしく暗く  
なっています。そのような暗闇の中に歩んで  
いた民が「大いなる光」を見たと言うのです。  
暗黒の地に住んでいた人々の上に「光」が照っ  
たのです。救い主イエス・キリスト様はまさに、  
暗やみに輝く「大いなる光」です。暗黒の地  
に住む人々の上に照った「光」なるお方です。  
明るく清く暖かい世の中となります。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様もご自分のことを  
「わたしは世の光である」(ヨハネ 8・12)  
と言われたのを思い出します。

12月9日(火)

聖書  
聖句

イザヤ 9・1～6

まつりごとはその肩にあり、その名  
は、「霊妙なる義士、大能の神、とこ  
しえの父、平和の君」ととなえられる。 6節

救い主イエス様がどのようなお方かも、イザ  
ヤは示され、預言しました。イエス様をますま  
す知って、ますます信じていきましょう。「まつ  
りごとはその肩にあり」というのは、世界の歴史  
を支配する力がイエス様にあることです。また、  
わたしたち、小さなひとりひとりの一生を導  
かれる力もイエス様にあるということです。わ  
たしたちは誰一人、自分で決めて生れてきたの  
ではありません。イエス様の愛のご計画の中に  
生れ、導かれていくのです。

いの  
祈り

天のお父様、小さなわたしのためにも、救  
い主がまちがいなく一つ一つのことを導  
いてくださることをうれしく思います。

# 12月10日(水)

聖書  
聖句

イザヤ9・6

その名は、「<sup>れいみよう</sup>霊<sup>ぎし</sup>妙なる義士<sup>たいのう</sup>、大能の<sup>かみ</sup>神<sup>ちち</sup>、とこしえの父<sup>へいわ</sup>、平和の君<sup>きみ</sup>」<sup>せつ</sup>となえられる。6節

きょうから同じ聖句です。完<sup>かん</sup>ぺきに暗<sup>あん</sup>唱<sup>しやう</sup>できそうですね。イエス<sup>イエス</sup>様がどのよう<sup>かた</sup>なお方<sup>かた</sup>か、一つ一つ<sup>ひと</sup>味わ<sup>あじ</sup>いましょう。「<sup>れいみよう</sup>霊<sup>ぎし</sup>妙なる義士<sup>たいのう</sup>」ちょっとむずかしく聞<sup>き</sup>こえますが、英語<sup>えいご</sup>では「ワンダフル カウンセラー」です。不思議<sup>ふしぎ</sup>(ワンダー)がいっぱい(フル)になると、まさに「ワンダフル」!!「素晴らしい」となります。カウンセラー<sup>たすおし</sup>は助<sup>す</sup>け教<sup>き</sup>えてくれる人<sup>ひと</sup>ですね。イエス<sup>イエス</sup>様は、本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>に素<sup>す</sup>晴<sup>はら</sup>らしい助<sup>じ</sup>言<sup>げん</sup>者<sup>しや</sup>なのです。なんでもお祈<sup>いの</sup>りしていきといひです。

**いの祈り** <sup>てん</sup>天のお父<sup>とうさま</sup>様、目<sup>め</sup>に見<sup>み</sup>える人<sup>ひと</sup>に相<sup>そう</sup>談<sup>だん</sup>しやすいですが、最<sup>さい</sup>高<sup>こう</sup>に素<sup>す</sup>晴<sup>はら</sup>らしいイエス<sup>イエス</sup>様にいつでもお祈<sup>いの</sup>りしていきます。

# 12月11日(木)

聖書  
聖句

イザヤ9・6

その名は、「<sup>れいみよう</sup>霊<sup>ぎし</sup>妙なる義士<sup>たいのう</sup>、大能の<sup>かみ</sup>神<sup>ちち</sup>、とこしえの父<sup>へいわ</sup>、平和の君<sup>きみ</sup>」<sup>せつ</sup>となえられる。6節

救<sup>すく</sup>い主<sup>ぬし</sup>イエス<sup>イエス</sup>様は、「みどりご」<sup>あか</sup>(赤ちゃん!)であり、「男<sup>おとこ</sup>の子<sup>こ</sup>」として生<sup>う</sup>ま<sup>ま</sup>れてくださ<sup>さ</sup>ったのですが、そのイエス<sup>イエス</sup>様は、実<sup>じつ</sup>は「大能<sup>たいのう</sup>の神<sup>かみ</sup>」ですよと、イザヤ<sup>イザヤ</sup>は言<sup>い</sup>います。大能<sup>たいのう</sup>とは、大<sup>おほ</sup>きな能<sup>のう</sup>力<sup>りき</sup>です。大<sup>おほ</sup>きな力<sup>ちから</sup>の持<sup>も</sup>ち主<sup>ぬし</sup>です。イエス<sup>イエス</sup>様は、父<sup>ちち</sup>なる神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>とともに、天<sup>てん</sup>と地<sup>ち</sup>とすべ<sup>つ</sup>てのもの、そして、わたしたちを造<sup>つく</sup>られたのです。し<sup>し</sup>かも天<sup>てん</sup>地<sup>ち</sup>のすべ<sup>つ</sup>てをその大<sup>おほ</sup>きな力<sup>ちから</sup>で今<sup>いま</sup>も支<sup>さ</sup>えつづけておられるのですから! そんなイエス<sup>イエス</sup>様はとて<sup>も</sup>心<sup>こころ</sup>強<sup>つよ</sup>いと思<sup>おも</sup>いませんか?!

**いの祈り** <sup>てん</sup>天のお父<sup>とうさま</sup>様、ほんとうにイエス<sup>イエス</sup>様がど<sup>ん</sup>なに大<sup>おほ</sup>きな強<sup>つよ</sup>いお方<sup>かた</sup>か、よくわ<sup>わ</sup>かりまし<sup>た</sup>。ドーンと頼<sup>たよ</sup>りにして信<sup>しん</sup>じます。

# 12月12日(金)

聖書  
聖句

イザヤ9・6

その名は、「<sup>れいみよう</sup>霊<sup>ぎし</sup>妙なる義士<sup>たいのう</sup>、大能の<sup>かみ</sup>神<sup>ちち</sup>、とこしえの父<sup>へいわ</sup>、平和の君<sup>きみ</sup>」<sup>せつ</sup>となえられる。6節

あなたのお父<sup>とう</sup>さんはど<sup>ん</sup>な人<sup>ひと</sup>かな? 元<sup>げん</sup>氣<sup>き</sup>いっぱい? ちょっ<sup>ち</sup>と体<sup>からだ</sup>が弱<sup>よわ</sup>い? とて<sup>も</sup>頼<sup>たよ</sup>りになる? 忙<sup>いそ</sup>しくして<sup>い</sup>て、あ<sup>あ</sup>まり会<sup>あ</sup>えない?! いつもそ<sup>い</sup>ばに<sup>い</sup>てほし<sup>い</sup>と思<sup>おも</sup>って<sup>も</sup>、ま<sup>ま</sup>た、い<sup>い</sup>つま<sup>ま</sup>でも一<sup>いっ</sup>緒<sup>しょ</sup>に<sup>い</sup>てほし<sup>い</sup>なと思<sup>おも</sup>って<sup>も</sup>、い<sup>い</sup>つかは<sup>は</sup>ちが<sup>う</sup>所<sup>ところ</sup>に住<sup>す</sup>んだり、天<sup>てん</sup>国<sup>こく</sup>に行<sup>い</sup>ってしま<sup>ま</sup>ったりとい<sup>い</sup>うのが人<sup>にん</sup>間<sup>げん</sup>の父<sup>ちち</sup>です。でも、イエス<sup>イエス</sup>様は、わたしたちの「とこしえの父<sup>ちち</sup>」です。いつも<sup>い</sup>つも<sup>も</sup>変<sup>か</sup>わ<sup>わ</sup>ら<sup>ら</sup>ない、い<sup>い</sup>つま<sup>ま</sup>でも、そ<sup>そ</sup>して永<sup>えい</sup>遠<sup>えん</sup>ま<sup>ま</sup>でも共<sup>とも</sup>に<sup>い</sup>てく<sup>く</sup>だ<sup>だ</sup>さ<sup>さ</sup>る父<sup>ちち</sup>です。とて<sup>も</sup>うれ<sup>うれ</sup>しいです<sup>す</sup>ね。

**いの祈り** <sup>てん</sup>天のお父<sup>とうさま</sup>様、イエス<sup>イエス</sup>様もとこしえの父<sup>ちち</sup>として、い<sup>い</sup>つも、い<sup>い</sup>つま<sup>ま</sup>でも共<sup>とも</sup>に<sup>い</sup>てく<sup>く</sup>だ<sup>だ</sup>さ<sup>さ</sup>るこ<sup>こ</sup>ろ<sup>ころ</sup>を心<sup>かん</sup>より感<sup>かん</sup>謝<sup>しゃ</sup>します。

# 12月13日(土)

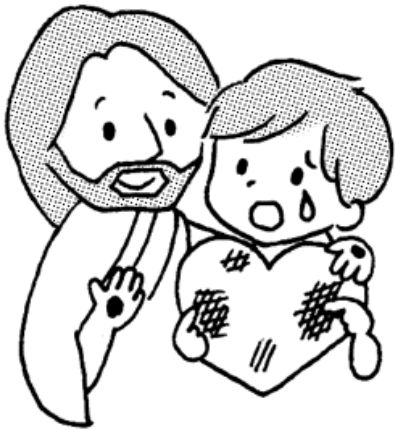
聖書  
聖句

イザヤ9・6

その名は、「<sup>れいみよう</sup>霊<sup>ぎし</sup>妙なる義士<sup>たいのう</sup>、大能の<sup>かみ</sup>神<sup>ちち</sup>、とこしえの父<sup>へいわ</sup>、平和の君<sup>きみ</sup>」<sup>せつ</sup>となえられる。6節

「平和<sup>へいわ</sup>の君<sup>きみ</sup>」とまた、「平和<sup>へいわ</sup>の王<sup>おう</sup>」です。世界<sup>せかい</sup>のあ<sup>あ</sup>ち<sup>ち</sup>らこ<sup>こ</sup>ち<sup>ち</sup>らで、今<sup>いま</sup>も争<sup>あらそ</sup>いや戦<sup>たたか</sup>いがあり、多<sup>おほ</sup>くの人<sup>ひと</sup>が傷<sup>きず</sup>つき、倒<sup>たお</sup>れ、痛<sup>いた</sup>んで<sup>い</sup>ます。わた<sup>わ</sup>た<sup>た</sup>しのま<sup>ま</sup>わりはど<sup>ど</sup>うで<sup>で</sup>しょう? 学<sup>が</sup>校<sup>こう</sup>で、お家<sup>うち</sup>で、平<sup>へい</sup>和<sup>わ</sup>ですか? そ<sup>ま</sup>の<sup>ま</sup>前<sup>まえ</sup>に、あ<sup>あ</sup>な<sup>な</sup>た<sup>た</sup>の心<sup>こころ</sup>の中<sup>なか</sup>! い<sup>い</sup>つも平<sup>へい</sup>和<sup>わ</sup>ですか? 平<sup>へい</sup>安<sup>あん</sup>ですか? 本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>の平<sup>へい</sup>和<sup>わ</sup>は、わ<sup>わ</sup>た<sup>た</sup>し<sup>し</sup>た<sup>た</sup>ち<sup>ち</sup>が<sup>が</sup>ま<sup>ま</sup>ず、神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>と仲<sup>なか</sup>直<sup>ち</sup>りして与<sup>あ</sup>え<sup>え</sup>ら<sup>ら</sup>れる心<sup>こころ</sup>の平<sup>へい</sup>和<sup>わ</sup>からや<sup>や</sup>って<sup>き</sup>ま<sup>ま</sup>す。神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>との平<sup>へい</sup>和<sup>わ</sup>、そ<sup>そ</sup>れは、十<sup>じゅう</sup>字<sup>じ</sup>架<sup>か</sup>で身<sup>み</sup>代<sup>しろ</sup>りに死<sup>し</sup>んで<sup>く</sup>だ<sup>だ</sup>さ<sup>さ</sup>った救<sup>すく</sup>い主<sup>ぬし</sup>イエス<sup>イエス</sup>様<sup>さま</sup>によ<sup>よ</sup>って<sup>あ</sup>た<sup>た</sup>だけ与<sup>あ</sup>え<sup>え</sup>ら<sup>ら</sup>れ<sup>れ</sup>ま<sup>ま</sup>す。

**いの祈り** <sup>てん</sup>天のお父<sup>とうさま</sup>様、イエス<sup>イエス</sup>様をわた<sup>わ</sup>た<sup>た</sup>しの心<sup>こころ</sup>の王<sup>おう</sup>としてお迎<sup>むか</sup>えし、あ<sup>あ</sup>な<sup>な</sup>た<sup>た</sup>との平<sup>へい</sup>和<sup>わ</sup>、人<sup>ひと</sup>々<sup>と</sup>との平<sup>へい</sup>和<sup>わ</sup>が与<sup>あ</sup>え<sup>え</sup>ら<sup>ら</sup>れ<sup>れ</sup>ま<sup>ま</sup>すよ<sup>よう</sup>に。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 1・18～25

救い主としての誕生

彼は、おのれの民をそのもろもろの罪から救う者となるからである。

マタイ 1・21

目標

救い主として誕生されたキリストにより、罪赦され、救いをいただく。

12月14日(日)

聖書  
聖句

マタイ 1・18～25

彼は、おのれの民をそのもろもろの罪から救う者となるからである。

21節

あなたも「待って、待って、待って、待って…やっとな！」ということがありましたか？ イスラエルの人たちも、「メシヤ(救い主)の誕生」を「待って、待って、待って」いたのです。そんなスペシャルな救い主のお誕生でしたから、いろいろと「？」ハテナ？と首をかしげることもいっぱいでした。ヨセフさんは、「？」だけでなく、すごく悩みに悩んだのですね。でも、主の使いによってみごとに解決されました。

いの  
祈り

天のお父様、「罪から救う者となる」イエス様のお誕生を感謝します。わたしも罪をゆるされて救われたいです。

12月15日(月)

聖書  
聖句

マタイ 1・18～19

母マリヤはヨセフと婚約していたが、まだ一緒にならない前に、聖霊によって身重になった。

18節

まずは最初の「？」ですね。まだちゃんと結婚もしていないのに、婚約してただけなのに、マリヤさんのお腹が大きくなってきた！聖書には「聖霊によって」と書いてあります。神様の聖い霊によって、赤ちゃんイエス様がマリヤのお腹に宿ったのでした！でもそんなことをまだ全然知らなかったヨセフさんはとても悩んで、苦しんでマリヤと縁を切ろうと心に決めました。マリヤはひと言も言っていなかったのですね。

いの  
祈り

天のお父様、聖霊によってマリヤさんのお腹に宿られた救い主イエス様は、本当に清いお方だとよくわかります。

12月16日(火)

聖書  
聖句

マタイ 1・20～21

ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。

20節

マリヤのあつい信仰を神様はきっと喜ばれたにちがいません。そしてあれこれ思いめぐらす、心優しいヨセフのために神様が主の使いをつかわして告げさせます。「恐れることはない、心配しないでいいのだよ」。これはいつでも神様が人にあらわれてくださる時の決まり文句です！マリヤは聖霊によって子を宿している、その子は罪からの救い主だから、安心してマリヤを妻として迎えるがよいと。ホッとしましたね。

いの  
祈り

天のお父様、わからなくて悩む時も、あなたは優しくわかるように教えてください。心より感謝いたします。

# 12月17日(水)

聖書  
聖句

マタイ 1・22

すべてこれらのことが起こったのは、主が預言者によって言われたことの成就するためである。 22節

「へー、この赤ちゃんイエス様は預言されていて、生れてきたのかあ」って、驚きましたか？ 何年くらい前にどんな預言者によって、告げられていたと思いますか？ イエス様誕生の700年前でしたよ！ その預言者の名前は「イザヤ」です。イザヤ7・14を開いてみてください。ホントウニ!! 私たちは明日のことも、いえ、今日のことで何があるかわからないのに！ 神様の預言（み言葉）のすごサ！

いの  
祈り

天のお父様、あなたのみ言葉、預言者に語らせた預言は、100%その通りになることに、改めてオドロキます！

# 12月18日(木)

聖書  
聖句

マタイ 1・23

見よ、おとめがみごもって男の子を産むであろう。その名はインマヌエルと呼ばれるであろう。 23節

「今度生れる子はボクの弟かな？ 妹かな？」お母さんのお腹に宿って五か月くらいしたら、「男の子ですよー」とか「女の子ですよー」ってわかるのですね！ でもここは700年も前から、「男の子ですよー」って記されています。そしてとても素敵なお名前ですね。「インマヌエル」イスラエルの人の言葉でヘブル語なのです。これを日本語に訳すと、「神われらと共にいます」となります。何と力強くて良いお名前でしょう！

いの  
祈り

天のお父様、やっぱり、救い主イエス様のお誕生は、どんなにかスペシャル（特別）だったかよくわかります。

# 12月19日(金)

聖書  
聖句

マタイ 1・24~25

ヨセフは眠りからさめた後に、主の使いが命じたとおりに、マリヤを妻に迎えた。 24節

あなたももしかして、夢の中で、神様の声を聞いたりしたことありますか？ ヨセフは、夢の中で、これらのことを知らされ、また神様からの命令を聞いたのでした。「なあんだ、夢だったんだよね」って、忘れてしまったり、放っておいたりはしませんでした。しっかりと心の奥で受け止めました。そして、「主の使いが命じたとおりに、マリヤを妻に迎えた」のです。マリヤもイエスもヨセフの信仰に守られました。

いの  
祈り

天のお父様、あなたのなさることは少しの狂いもないことを覚えます。どこまでもあなたを信じぬいていきます。

# 12月20日(土)

聖書  
聖句

ヨハネ 1・24~34

見よ、世の罪を取り除く神の小羊。 29節

「主の道を備えよ」と荒野で叫んでいたバプテスマのヨハネ登場。ヨハネは「わたしは水でバプテスマを授けるが、わたしのあとにもっとすぐれた方が来られる」と言っていました。ついにヨハネはイエスが自分の方にこられるのを見てイエス様を紹介しました。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊」と！ イエス様は30歳になって、世の人々の前にあらわれました。ヨハネの紹介はまさにズバリでした。

いの  
祈り

天のお父様、わたしも罪を悔い改めて赦していただいて、罪から永遠の滅びから救われて毎日過ごしたいです。

クリスマス



Merry Christmas!

聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 2・1～12  
王なるキリストを迎える  
ユダヤ人の王としてお生れに  
なったかたは、どこにおられます  
か。 マタイ 2・2  
キリストを心に王として迎え  
る。

目標

12月21日(日)

聖書  
聖句

マタイ 2・1～12  
ユダヤ人の王としてお生れになっ  
たかたは、どこにおられますか。2節

メリー・クリスマス！ クリスマスおめでと  
うございます！ きょうはクリスマス聖日です。  
全世界の教会でイエス様のお生れを記念して、  
クリスマス礼拝がもたれますよ！ わたしもそ  
の中のひとりになって幸せ！と思うでしょ  
う？ クリスマスの幸せ、それはわたしたちが  
罪から救われる喜びと、イエス様をわたした  
ちの心に「王様」としてお迎えできることで  
す。わたしの心と人生をすばらしく治めてい  
ただけるのですから 幸せです。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様を罪からの救い主  
と共に王様としておつかわしくださっ  
て心よりありがとうございます。

12月22日(月)

聖書  
聖句

マタイ 2・1～2  
わたしたちは東の方でその星を見  
たので、そのかたを拝みにきました。  
2節

教会学校や教会の礼拝に来るのに、あなた  
はどれくらい時間がかかりますか？ ゼロ分！  
教会に住んでいればね！ 歩いて10分、チャ  
リで30分、車で一時間、もっとかけて来る人  
もいる？ エライ！ ここに東の方でその星、  
ユダヤ人の王としてお生れのメシヤのしるし  
を見て拝みにきた東方の博士さんたちは、何と  
一年以上もかけて、はるばるやってきたのでし  
た！ 感動ですね。それほどにもその方に会  
いたかったのですね！

いの  
祈り

天のお父様、博士たちに負けないくらい  
教会に励んでしっかりお話を聞いて  
イエス様とお会いしたいです。

12月23日(火)

聖書  
聖句

マタイ 2・3～6  
彼らは王に言った、「それはユダヤ  
のベツレヘムです」。 5節

「ユダヤ人の王だと?! わたし以外に一体だ  
れが王なんだ?!」と、その時の王様ヘロデは考  
えて、心が不安になってきました。エルサレ  
ムの人たちも同じく不安に思いました。そこで  
学者たちを全部集めて、キリストはどこにうま  
れるのかとたずねると、「ユダヤのベツレヘム  
です。預言のとおりです」との返事。王だから  
宮殿かなと思って、博士たちはやってきたの  
でしたが、そうではなくベツレヘムだとわかり  
ました。

いの  
祈り

天のお父様、クリスマス感謝いたしま  
す。イエス様のお誕生の地名までが  
ちゃんと預言されていたことに、またま  
た感動してしまいます。

## 12月24日（水）



マタイ 2・7～8

行って、その幼な子のことを詳しく調べ、見つかったらわたしに知らせてくれ。わたしも拝みに行くから。

8節

ヘロデ王は、こっそり博士たちを呼んでたずねました。「その星はいったい、いつごろ現れたのか？ どのような星だったのか？」などと。そして、博士たちをベツレヘムに行くようにつかわしました。エルサレムから8キロばかりです。歩いて2時間もあれば行けます。でもヘロデも学者たちもだれもエルサレムから行く人はいませんでした。「見つけたら知らせてくれ、あとから拝みに行くから」と。

いの祈り

天のお父様、ヘロデ王も律法をよく知っている学者たちも本当の礼拝者ではありませんでした。考えさせられます。

## 12月25日（木）



マタイ 2・9～10

彼らはその星を見て、非常な喜びにあふれた。

10節

さて、博士たちは…「わかりました、感謝です、そのようにいたしましょう」と王に答えて、「さあ、出発だ！ 目指すはベツレヘム！」と出かけようとする。「おお、あの星ではないか」。博士たちは目を輝かせて、先に進んでいく星を見ながら、ついて行くと、「お！ 止まった、あの家の上にとどまったぞ」。そうです。幼な子イエス様のおられる所でした。博士たちの胸はほんとうに喜びにはち切れそうでした。

いの祈り

天のお父様、「王なる救い主を拝める！」と喜びにあふれた博士たちのようにわたしも期待に満ちて教会にいきます。

## 12月26日（金）



マタイ 2・11

宝の箱をあけて、黄金・乳香・没薬などの贈り物をささげた。

11節

喜びと感謝でふるえるような心で、博士たちは家にはいらせてもらったことでしょう。母マリヤのそばにいて、まだ2歳にもなっていない幼な子に会いました！ 彼ら、大の男たちが、そんな小さな幼な子の前に、ひれ伏して拝んだのです。だって、王様なのですから。また大切に持ってきた宝の箱をあけて、イエス様にふさわしい贈り物、黄金・乳香・没薬などをささげました。あなたも宝をおささげできますか？

いの祈り

天のお父様、非常な喜びにあふれて王なるイエス様に会い、拝み、ささげた博士になろう礼拝をささげます。

## 12月27日（土）



マタイ 2・12

夢でヘロデのところに帰るなどのみ告げを受けたので、他の道をとって自分の国へ帰って行った。

12節

「じゃ、ヘロデ王に知らせにエルサレム経由で帰るか？」 「いやいや、神様は、夢でヘロデのところには帰るなと告げてくださった。だから、エルサレムに戻る必要はないよ」。そういうわけで、彼らは神様のみ告げに従って、他のちがう道を通して、またまた、長い長い旅路についたのでした。イエス様にお会いしたら、もう今までの古い道は歩まない人になります。イエス様と共に、新しい人生に進むのです。

いの祈り

天のお父様、イエス様を私の心に王様として迎えします。すべてをご支配していただく新しい人生を感謝します。



ねんまつかんしゃ  
年末感謝

Thank you, God.



せいしよ  
聖書

しへん  
詩篇118・1～6

てーま  
あんしょうせい  
暗唱聖句

めぐ  
恵みへの感謝

しよかんしゃ  
主に感謝せよ、主は恵みふかく、

そのいつくしみはとこしえに  
絶えることがない。詩篇118・1

もく  
目標

いちねんめぐおほかみかんしゃ  
一年の恵みを覚え、神に感謝をさ  
さげる。

12月28日（日）

せいしよ  
聖書

しへん  
詩篇118・1

しよかんしゃ  
主に感謝せよ、主は恵みふかく、その  
いつくしみはとこしえに絶えることが  
ない。1節

こんしゅうことしさいごしゅう  
今週は今年最後の週ですね。今年一年、ど  
んな年だったかな？ あんなうれしいことが  
あったな、こんな悲しいこともあったな、こん  
な体験したな、びっくりすることがあったな…  
など。いろんなことがあったと思いますが、あ  
なたが笑っている時も、泣いている時も、神様は  
いつも共にいてくださったことを知っています  
か。

ねんまつおおたいせついちねんふ  
年末の大そうじも大切だけど、一年を振りか  
える時間を持つこともすごく大切なことです。  
なんとなく一年を終えるのではなく、神様がく  
ださった恵みを思いおこしてみましょう。

いの  
祈り

てんとうさまこんしゅうとくことし  
天のお父様、今週は特に、今年あなたが  
くださった恵みを思いおこすことができ  
ますように。

12月29日（月）

せいしよ  
聖書

しへん  
詩篇118・1

しよかんしゃ  
主に感謝せよ。

せつ  
1節

かみさま  
神様がくださった恵みを思いおこす、という  
のは神様に心から感謝をするということ。

イスラエルの民は、かつてエジプトの国で  
奴隷として生活をしていました。身体がどんな  
につらくてもたくさん働かせられたり、時には  
いじめられたり、本当に苦しい生活をしていま  
した。しかし、神様は苦しんでいるイスラエル  
をご覧になって、エジプトから脱出させてくだ  
さったのです。イスラエルの民は、この恵みを  
わすれず、神様に感謝する歌をうたうようにな  
りました！ それがこの詩篇118篇なんです。

めぐ  
恵みをもらいっぱなしにしないで、神様に  
感謝をささげる人になってください。

いの  
祈り

てんとうさまめぐ  
天のお父様、あなたからの恵みをわすれ  
ず、感謝をささげることができますよう  
に。

12月30日（火）

せいしよ  
聖書

しへん  
詩篇118・1

しよかんしゃ  
主は恵みふかく、そのいつくしみはと  
こしえに絶えることがない。1節

かみさまかんしゃ  
神様に感謝するのは、ほかにも理由があるん  
です。それは、「主は恵みふかい」お方だから！  
「恵み」というのはね、本当はわたしたちがも  
らえないはずのものを、神様が与えてくださる  
ことです。

かんが  
考えてみれば、わたしたちはお願いもしてい  
ないのに食べ物があるし、着る物もあるし…、  
そのほかにも、いろ～んなものが与えられてい  
るでしょう。お願いをしていないのに、いろん  
なことを乗り越えて来たでしょう。それは偶然  
ではないのです。わたしたちの気づかないところ  
で、神様が恵みをくださっていたからなので  
す。

いの  
祈り

てんとうさましとき  
天のお父様、わたしが知らない時にも、  
たくさんの恵みをくださっていたことを  
心から感謝します。

## 12月31日（水）



詩篇118・1

主は恵みふかく、そのいつくしみは  
とこしえに絶えることがない。1節

さらに神様は、「いつくしみは絶えることが  
ない」お方です。言いかえると、神様はけっし  
てお約束を変えたりなさらず、永遠に守ってく  
ださるお方、ということ。

よく考えてみてください。イエス様の  
十字架はわたしの身がわり、と信じた人は必ず  
天国に行くことができますね。これは神様がわ  
たしたちにくださったお約束。でも、もし神様  
が「やっぱりやめた！」なんて言われたら、と  
んでもないことになります。でも、神様はぜっ  
たいにそんなことはされません。わたしたち  
人間は約束をやぶることがあっても、神様のい  
つくしみは永遠に変わらないのです。

いの  
祈り

天のお父様、けっして変わらないあなた  
のいつくしみを心から感謝します。

## 1月1日（木）



詩篇118・1～4

主をおそれる者は言え、「そのいつく  
しみはとこしえに絶えることがない」  
と。4節

新しい年をむかえました。新年にまず、わた  
したちがすることは、神様を心から賛美するこ  
と！ 今日読んだ箇所は、「イスラエルは言え、  
アロンの家は言え、主をおそれる者は言え！」  
と、くりかえし書かれていますね。つまり、神様  
を信じる者みんなで賛美をささげよう！とい  
うことなんです。

ひとりで賛美するのも良いことなのですが、  
みんなで賛美するのももっとすばらしいこと  
です。神様というお方は、世界中の人々にさん  
びされるべきお方。さあ、力いっぱい神様を  
賛美しましょう！

いの  
祈り

天のお父様、あなたを賛美します。世界中  
で、神様だけが賛美されますように。

## 1月2日（金）



詩篇118・1～5

わたしが悩みのなかから主を呼ぶと、  
主は答えて、わたしを広い所に置か  
れた。5節

あなたは、悩んだことがありますか？「ああ  
どうしよう…」「いやだなあ…」「困ったなあ」  
などなど、ハ～…とため息をついたこと、ある  
でしょうか。

だれでも必ず、悩む時があります。そんな時、  
神様にお祈りして呼びかけると、神様はかなら  
ず応えて助けてくださるお方です。「広い所」  
というのは、神様があなたを悩みから救い出  
して、守ってくださる場所のこと！ 誰よりもま  
ず、神様にお祈りして相談してください。神様  
は、あなたが呼ぶのを待っておられますよ。

いの  
祈り

天のお父様、悩んでいる時、あなたが応  
えてくださることを、もっと知ることが  
できますように。

## 1月3日（土）



詩篇118・1～6

主がわたしに味方されるので、恐れる  
ことはない。人はわたしに何をなし得  
ようか。6節

神様がわたしの味方。これってすごいことだ  
と思いませんか？ わたしたちは、なにか困って  
いる時、「だいじょうぶだよ、わたしはあなたの  
味方」と言ってもらえたら、うれしくて力がわ  
いてきますね。でも、誰に言われるより神様が  
そう言うてくださったなら、何にもおそれる必要  
はありません。たとえ、あなたのことを悪く言う  
人がいたとしても、いやなことをされても、神様  
はあなたの味方。これも神様のお約束。神様の、  
あなたへのいつくしみは、永遠に変わることが  
ありません。

いの  
祈り

天のお父様、あなたがわたしの味方であ  
ることが、けっして変わらないお約束で  
あることを心から感謝します。